

「令和5年度に新たに実施する電波資源拡大のための研究開発の基本計画書（案）」に対する意見と総務省の考え方

【意見募集対象の研究開発課題】

高度衛星放送システムに向けた周波数有効利用技術の研究開発

No.	意見提出者	提出された意見	総務省の考え方
1	個人	計画書中の「番組」という語は、個々の放送番組(報道番組、娯楽番組…)のことと紛らわしいので、「チャンネル」又は「番組編成」に改めるべきである。	御意見を踏まえ、1 ページ 13 行目の「6 事業者 6 番組」を「6 事業者 6 チャンネル」に、同「5 事業者 12 番組」を「5 事業者 12 チャンネル」に修正します。
2	個人	≪場所≫ PDF 2 P 目 1. 上から 16 列目の『稠密』 ≪意見≫ 上に小さな文字でふりがなを記してもらったり、() して意味を記してもらうのは、どうか。 ≪理由≫ 普通の日常生活では使われない漢字や単語だから、です。	御意見を踏まえ、1 ページ 19 行目の「稠密に」を「密に」に修正します。
3	個人	①前提が嘘の内容で計画を進める事を禁ずる。 衛星放送の未来像に関するワーキンググループ報告書 2021 年で既存事業者の撤退と NHK の BSP 停波空き帯域が発生すると書かれてるがこの基本計画書では現状では右旋帯域がひっ迫しておりと記載されている。 発行がリーマンショック以前 (?2007 年) 当時のものすごく古い資料ならまだ分かるが、衛星放送の未来像に関するワーキンググループ (第 13 回) 配布資料令和 3 年 10 月 15 日 (金) から同年 10 月 21 日 (木) (令和 3 年=2022 年) に総務省の正式な見解としてこの記載通りに公表された内容に 100% 反している。 令和 5 年度から新たに実施する電波資源拡大のための研究開発の基本計画書 (案) 現状では右旋帯域がひっ迫しており、継続的に 4K 放送への新規参入の需要を満たす周波数の割当てを行うことは困難な状況にある。 放送を巡る諸課題に関する検討会衛星放送の未来像に関するワーキンググループ報告書 2021 年 (案) 2. 周波数の有効利用の推進 (1) BS 右旋帯域の空き帯域の活用 前章 3. (1) 右旋帯域について述べたとおり、かねてからひっ迫していた右旋帯域であったが、BS 右旋帯域においては、周波数使用	<①について> 御意見のとおり、2021 年 10 月 29 日付の「放送を巡る諸課題に関する検討会 衛星放送の未来像に関するワーキンググループ 報告書」には、右旋帯域に「今後一定の空き帯域が発生することが見込まれている」旨が記載されておりますが、発生する空き帯域は右旋帯域全体から見れば限定的であり、基本計画書 (案) に記載のとおり、今後も継続的に 4K 放送への新規参入の需要を満たす周波数の割当てを行うためには、中長期的な視点で右旋帯域の周波

		<p>基準の適用、一部事業者の撤退等及び NHK の衛星波の整理・削減といった理由により、今後一定の空き帯域が発生することが見込まれている。</p> <p>②4K 放送しても全体の加入者ベースでは減って居る現実を直視すべきである。</p> <p>地上波の視聴需要がある番組を BS で放送させながらない地域免許にしがみ付く老害地方民放局、NHK という社会の害悪考えたら TV 捨てる・買わないという選択肢は当然である。</p> <p>4K なんてももの前に地方局の徹底した廃局と NHK 経営委員を刑事告訴して一般人への加害行為を止めるのが先。</p> <p>有料・多チャンネル放送契約数 https://www.eiseihoso.org/data/index.html</p> <p>③4K8K 放送推進策は i-dio の同類でありいずれは破綻を迎える。</p> <p>i-dio 以上に国税を投入した訳だから絶対に詰め腹を切らせ関係者は責任から逃げられないよう追い込む必要がある。</p> <p>名門ラジオ局「エフエム東京」が不正会計のなぜ https://toyokeizai.net/articles/-/298774 調査報告書 https://www.tfm.co.jp/company/pdf/news_aff8c32a0a9f794bb1d7039cfefdc99e5d5cd64086651.pdf エフエム東京が不正な会計処理 https://www.youtube.com/watch?v=_6JFs4xtyNc</p>	<p>数ひっ迫の解消を図る必要があります。</p> <p>本研究開発は、衛星放送用周波数帯の周波数利用効率を2倍以上に向上させるとともに、今後の衛星放送の動向変化に伴う帯域再編等に対応した柔軟な周波数割当てを実現する技術を開発するものであり、衛星放送の中長期的な周波数需要に対応するために実施する必要があるものです。</p> <p><②③について> 御意見として承ります。</p>
4	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 ページの 9 行目「及び」と、3 ページの最下行から上に 2 行目「および」とは、どちらかに字句を統一したほうがよい。 ・ 3 ページの 3 行目「階層分割多重 (LDM)」は「LDM」のほうがよい。1 ページの最下行の記載と重複しているから。 ・ 4 ページの 11 行目「毎」と、6 ページの 21 行目「ごと」とは、どちらかに字句を統一したほうがよい。 ・ 6 ページの 7 行目「スケーラブル VVC 符号化」は「スケーラブル VVC 符号化方式」のほうがよい。 	<p>御意見を踏まえ、文中の「及び」を「および」に、3 ページ 3 行目の「衛星放送用階層分割多重 (LDM) 伝送技術」を「衛星放送用 LDM 伝送技術」に、6 ページ 21 行目の「ごと」を「毎」に、6 ページ 7 行目の「スケーラブル VVC 符号化」を「スケーラブル VVC 符号化方式」に修正します。</p>

※) その他、本案と無関係と判断されるものが2件ございました。